

コード	503030103
記入日	H25.11.8

新規事業評価表【事前評価】

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	立石 克巳

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	有川総合体育館大規模改造事業	事業種類	継続事業
		事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーションの充実	項コード	6
基本事業コード	50303	基本事業名称	スポーツ施設の整備・充実	目コード	2
事務事業コード	5030301	事務事業名称	体育施設管理費	細目コード	1256
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町体育館条例		

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 町民	(対象指標1) 21,669人 (H25.11.1現在)
(対象2) 有川総合体育館利用者	(対象指標2) 27,410人(H24年度)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標
・有川総合体育館は、町スポーツ施設の中核を成し、年間約3万人が利用しているが、老朽化・腐食等による雨漏りや剥離、破損が激しいため利用者のスポーツ環境に支障をきたしているため大規模改造を行う。 →平成26年度 実施設計委託 →平成27年度 大規模改造工事 →改修内容 屋根・雨どい・玄関ドアほか鉄扉・トイレ・配水管・消防用設備・更衣室・内壁・ステージ照明設備の撤去など	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 大規模改造設計委託料 1.0式 実施設計委託料 平成26年度
	② 大規模改造工事 1.0式 A = 4,000㎡ 平成27年度
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標
・町スポーツ施設の中核をなし、年間約3万人の利用がある本施設も昭和57年建設以降、老朽化・腐食等による雨漏りや剥離、破損が激しい現状である。よって大規模改造工事を行うことにより、快適な施設の利用が図られ、利用率の向上、町民の健康づくり、体力づくりに寄与するものである。	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 利便環境の向上及び施設の長寿命化 - - 平成27年度
	②

実施 (DO)

	単位	全体計画		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
		H 26 ~ H 27								
活動指標	① 式	1.0			1.0					
	② 式	1.0				1.0				
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	111,654			10,954	100,700				
直接事業費 A	千円	110,254			10,254	100,000				
人件費 B	千円	1,400			700	700				
内 訳	従事職員数	人	0.2		0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起 債	千円	104,700		9,700	95,000				
	その他	千円								
一般財源	千円	6,954			1,254	5,700				

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	昭和57年建設以降30年が経過し老朽化や腐食等による雨漏りや剥離、破損が激しい現状を踏まえ、大規模改造工事を実施することにより、特に雨天時における転倒防止が図られるとともに快適な施設の利用環境を整備することは必要不可欠である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	スポーツ環境の整備及び利用者の利便向上を図るものであり適切である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	本施設は総合体育館で町スポーツ施設の中核を成し、現在も年間約3万人の利用があることから、安全で快適なスポーツ施設の充実を図ることは必要不可欠である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	特に雨漏り時の転倒の危険性があり、雨天時利用できなくなれば体育館としての機能自体が疑われる。
	・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	設計段階において、必要最小限の改修にとどめ事業費の圧縮、削減に努める。
	・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	本施設は、本町スポーツ施設の中核を成し、建築後30年が経過して老朽化や腐食等による雨漏りなど、利用者に不便をきたしていることから必要と判断する。事業実施にあたっては、大規模改造の内容を十分に精査し、経費の節減に努めること。また、将来的な体育施設の整備計画を策定し、計画的な整備に努めること。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。